

時計描画テスト（CDT）記録シート | 河野法 9点

A・B・Cを別用紙で実施し、得点・質的所見・条件を同じ順序で記録します。

v2 / 2026-08

患者ID		評価日	
評価者		場所	
利き手 / 使用手		眼鏡・補聴器	

1. 実施条件（再評価時にそろえる項目）

項目	確認・記録
用紙	☐ A：白紙 ☐ B：円のみ ☐ C：数字入り文字盤
指定時刻	☐ 10時10分（河野法）
教示	☐ 標準教示 ☐ 追加説明あり（内容を右欄へ）
感覚・環境	☐ 眼鏡 ☐ 補聴器 ☐ 静かな環境 ☐ 机上で安定
運動要因	☐ 麻痺 ☐ 振戦 ☐ 失調 ☐ 疼痛 ☐ 巧緻性低下

2. 採点記録（河野法 9点）

テスト	用紙・課題	配点	得点	根拠メモ
A	白紙に時計全体を描く	0-1		
B	円内に1～12の数字を入れる	0-6		
C	数字入り文字盤に10時10分の針	0-2		
合計		0-9		

3. 質的所見（該当項目にチェックし、必要なら短く追記）

領域	確認項目
円	☐ 円なし ☐ 強い歪み ☐ 閉じない ☐ 二重線 ☐ 極端な大きさ
数字	☐ 欠落 ☐ 重複 ☐ 順序違い ☐ 逆回転 ☐ 片側偏位 ☐ 円外
針	☐ 1本のみ ☐ 3本以上 ☐ 方向誤り ☐ 長短逆転 ☐ 中心ずれ
過程	☐ 開始困難 ☐ 停滞 ☐ 課題忘れ ☐ 修正反復 ☐ 再教示あり

4. 総合所見・追加評価・再評価条件

所見：

追加評価：

再評価条件：

注意 CDT単独で認知症を診断・除外しません。採点法、質的所見、実施条件、他評価を統合して解釈します。
本紙は記録用です。正式な採点は河野法原著および施設で採用した基準を確認してください。